

## センターの目的

本県の養豚は、稲作との複合部門として畜産のトップを占める地位に伸展してきましたが、近年、産地間競争が激化するなかで、養豚農家戸数は減少しているものの規模拡大が進行し、新たな生産基盤が形成されつつあります。

養豚が本県農業の重要な部門として今後とも主要な位置を担うためには、産肉能力及び繁殖能力が高く、特定の病気を持たない、強健で、かつ、商品性の高い優良種豚を安定的に確保することが、極めて重要な課題であります。

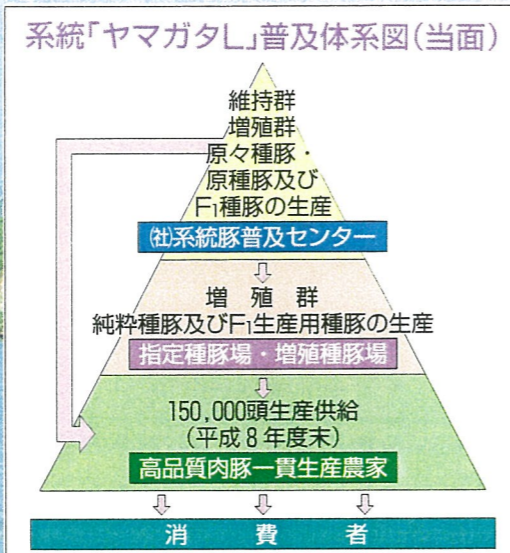
このような時期に、山形県は優良系統豚を造成し、平成6年3月に社団法人日本種豚登録協会の系統認定を受けました。

今後、認定された優良系統豚について、徹底した防疫管理と計画的かつ厳格な血縁管理を行い、遺伝的特性を変化させないように維持増殖して、一日も早く養豚農家に普及させるとともに、県、市町村及び農業関係団体が一体となってこれらの業務に取り組むことが重要であります。

このため、「社団法人山形県系統豚普及センター」はこれらの業務を円滑に遂行し、高品質で、かつ、斉一性のある優れた肉豚を効率よく生産し、養豚農家の経営の安定及び向上をはかり、もって、産地間競争に打ち勝てる新たな産地づくりに寄与するものであります。

## センターの業務

- ①センター施設の管理運営について。
- ②系統の維持等について。
- ③系統豚の増殖、普及および種豚の供給について。
- ④系統豚の能力並びに飼養管理調査について。
- ⑤種豚の改良等について。
- ⑥その他目的達成に必要なこと。



役員室



ミーティングルーム



休憩室



事務室



県花「ハニヒナ」

## センターの概要

- 名称 社団法人山形県系統豚普及センター
- 住所 山形県飽海郡松山町大字地見興屋字名ヶ沢67
- 設立年月日 平成6年3月1日(許可4月1日)
- 会員及び出資金 50,660千円

山形県	15,000千円
山形県内の市町村	(23市町村) 2,120
山形県内の総合農業協同組合	(16農協) 4,480
山形県農業協同組合中央会	60
山形県経済農業協同組合連合会	4,000
山形県庄内経済農業協同組合連合会	25,000
	〈43会員〉

### 役員及び組織機構

- 〈役員〉 理事10名(理事長、常務理事含む)  
監事2名
- 〈職員〉 設立当初職員6名
- 〈機構〉



## センターの沿革

- 平成6年4月1日 社団法人山形県系統豚普及センター設立許可。業務を開始。
- 平成6年4月20日 系統「ヤマガタシ」山形県から移管はじまる。
- 平成6年5月10日 本センターにおいて「ヤマガタシ」の分娩はじまる。
- 平成6年8月19日 系統「ヤマガタシ」合計165頭、全頭の移管終了する。
- 平成6年9月26日 「ヤマガタシW」初出荷式。



庄内特産「庄内柿」

